

草津未来研究所 News Letter

令和7年9月29日発行

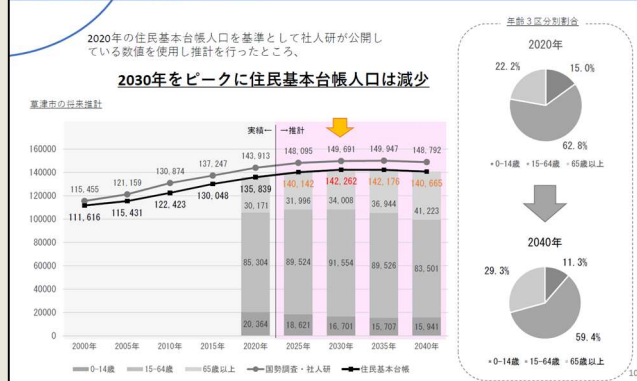
第10回関西・自治体シンクタンク情報交流会に参加しました

一般社団法人日本計画行政学会関西支部が主催された関西・自治体シンクタンク情報交流会に参加しました。情報交流会は、関西圏における自治体などのシンクタンクをメンバーとして、関西の自治体シンクタンクにおける研究成果の発信や意見交換の場として、開催されています。

【参加(報告)機関】

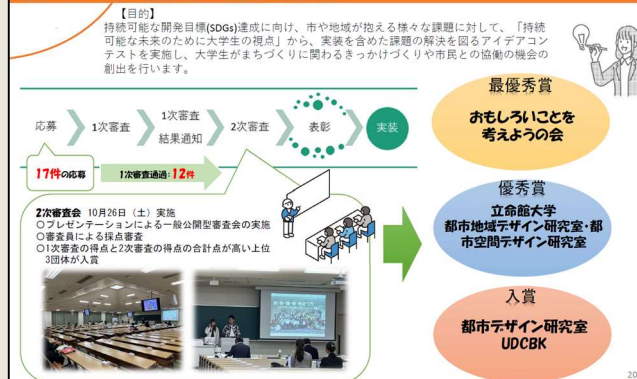
- ・大阪府 大阪産業経済リサーチセンター
- ・豊中市 とよなか都市創造研究所
- ・公益財団法人尼崎地域産業活性化機構
- ・草津市 草津未来研究所

03.住民基本台帳 -人口推計-



令和6年度調査研究概要資料 抜粋

01. 草津未来SDGs Awardsとは



草津未来 SDGs Awards 資料 抜粋

前回行われた情報交流会は Zoom で開催されましたが、今回はコロナ禍以降初めての対面で実施され、同学会会員の大学教員や民間の研究所員等から15人が参加しました。4機関から昨年度の研究成果と今年度の研究紹介が行われました。

草津未来研究所からは、令和6年度に実施した調査研究「人口減少社会を見据えた2040(令和22)年の草津市の姿に関する調査研究」の概要と、草津市市制施行70周年×立命館大学BKC開設30周年の記念事業として実施した「草津未来SDGs Awards」について報告し、今年度取り組んでいる調査研究の計画内容を報告しました。

参加者からは、「人口推計の実施方法は様々で手法により結果が異なると思うが、今回推計を行う際に迷ったことや悩んだこ

とはあるか。」、「推計時に学生の異動はどのようにみているのか。」等、人口推計の手法に関する質問をいただきました。

他参加者からは、スノーボール・サンプリング法による実態調査を行った『生活圈とオーバーツーリズム』に関する調査研究結果や、家庭 SES と学力について相関分析等を行い確認した『豊中市の子どもの学びと育ちに関する総合的な調査研究Ⅱ』に関する報告等をいただきました。

今年度は「健幸創造都市草津の実現に向けたスマートシティの推進に関する調査研究」と「草津市における買い物弱者の実態と支援策に関する調査研究」を行っています。他の自治体シンクタンクと情報交換、交流を行いながら、草津市での自治体シンクタンクとしての役割を果たせるよう努めていきます。

【参考】

関西・自治体シンクタンク情報交流会

<https://jappm-kansai.net/activity/kansai-jichitai-thinktank.php>

生活圈とオーバーツーリズム

https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/12078/overturism_report.pdf

豊中市の子どもの学びと育ちに関する総合的な調査研究Ⅱ

https://www.jstage.jst.go.jp/article/tiumtoshisouzou/3/0/3_61/_article/-char/ja/

詳しい草津未来研究所の調査研究内容は草津未来研究所のホームページをご覧ください。